



2025年3月21日

各位

会社名 ミーク株式会社
代表者名 代表取締役 執行役員社長 峯村 竜太
(コード番号: 332A 東証グロス市場)
問合せ先 執行役員兼経営管理室長 安井 允彦
(TEL. 03-4226-3119)

東京証券取引所グロス市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年3月21日に東京証券取引所グロス市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年3月期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位: 百万円、%)

項目	決算期	2025年3月期 (予想)		2025年3月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年3月期 (実績)		
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上高 比率		対売上 高比率		
売上高		5,545	100.0	3.2	4,202	100.0	5,375	100.0
売上総利益		2,043	36.8	20.6	1,474	35.1	1,694	31.5
営業利益		817	14.7	4.1	697	16.6	785	14.6
経常利益		799	14.4	1.9	696	16.6	784	14.6
当期(四半期)純利益		545	9.8	0.4	456	10.9	542	10.1
1株当たり当期(四半期)純利益		55円81銭		47円00銭		55円84銭		
1株当たり配当金		0円00銭		-		0円00銭		

- (注) 1. 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2024年3月期(実績)及び2025年3月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 2025年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(1,668,000株)を含めた期中平均発行済(予定)株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大477,300株)は含まれておりません。
4. 2024年12月4日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

【2025年3月期業績予想の前提条件】

(当社全体の見通し)

現在、あらゆるモノがインターネットにつながる IoT (Internet of Things) の活用が世界的に加速しております。IoT デバイスの普及により、あらゆるモノがインターネットに接続され、データをリアルタイムで収集・分析することが可能となり、多岐にわたる分野でデジタルトランスフォーメーション (DX) が進展したことにより、リアルタイムでのデータ通信や、大量のデータを活用したデータ分析を行うための通信インフラの重要性は益々高まっております。また、IoT サービスを運営するためには端末と通信手段の確保、データの収集と利活用の仕組みを構築するだけでなく、ユーザーへの連絡手段の確保や料金請求、提供する端末の個別設定や配送と回収など、様々なビジネス機能も用意する必要があります。企業によってはこれらの機能を用意することが難しいケースがあり、IoT サービス運営にあたっての課題となっております。また、MVNO 市場においては、非通信事業者による参入がみられており、独自プランの設計、配送、キittingなど、事業の立ち上げから運用まで幅広いサポートやコンサルティングが必要とされるケースが増加しております。

そのような環境の中、当社は IoT/DX プラットフォームサービスを展開し、IoT サービス事業者及び DX を推進する企業を支援しております。IoT/DX プラットフォームサービスは、モビリティ、スマートシティ、エネルギー・インフラ、農林水産業、小売業、ヘルスケア等幅広い領域でご利用が広がっており、契約回線数は 2024 年 12 月に 28 万回線を超過しております。また、格安 SIM を提供する MVNO (注 1) に対しては MVNE (注 2) サービスを展開しています。MVNE サービスは、新規大型顧客の獲得もあり、契約回線数は 2024 年 12 月に 45 万回線を超過しております。

以上の結果、2025 年 3 月期業績につきましては、売上高 5,545 百万円 (前期比 3.2%増)、営業利益 817 百万円 (前期比 4.1%増)、経常利益 799 百万円 (前期比 1.9%増)、当期純利益 545 百万円 (前期比 0.4%増) を見込んでおります。なお、当該予想値は 2024 年 12 月末までの実績数値に 2025 年 1 月以降の予測数値を合算して作成した数値となっております。

(注) 1. MVNO : 仮想移動体通信事業者

2. MVNE : 仮想移動体サービス提供者。MVNO の支援事業者

(売上高)

当社は、「モバイル IoT 支援事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、「モバイル IoT 支援事業」セグメントの下で、IoT/DX プラットフォームサービスと MVNE サービスを展開しています。いずれのサービスも、顧客から解約意思を示されない限り継続する契約から毎月収益を得られるリカーリング型の収益モデルであり、2025 年 3 月期においてはリカーリング売上が全体の売上の 99.5%程度となる見込みです。また、いずれのサービスも、2025 年 3 月期の売上高の予想は、取引開始済みの継続取引案件及び受注済みの案件については過去の実績及び受注内容を踏まえて契約回線数等を予測して算出した売上予想数値、受注確度の高い案件については商談内容・状況等に応じて契約回線数等を予測して算出した売上予想数値を合算して、策定しております。

2025 年 3 月期の IoT/DX プラットフォームサービス売上は、モビリティ、スマートシティ、

エネルギー・インフラ、農林水産業、小売業、ヘルスケア等幅広い領域でご利用が広がり契約回線数が増加することに伴い、当第3四半期累計実績1,454百万円、通期は1,941百万円（前期比10.1%増）を見込んでおります。また、2025年3月期のMVNEサービス売上は、特定顧客のキャリア化に伴う減収がある一方で、当第3四半期以降に新規獲得した大型顧客による増収が生じる等の結果として、当第3四半期累計実績2,748百万円、通期は3,604百万円（前期比0.2%減）を見込んでおります。

以上の結果、2025年3月期の売上高は5,545百万円（前期比3.2%増）を見込んでおります。

（売上原価、売上総利益）

当社の売上原価は、主にネットワーク回線費、業務委託料により構成されており、特にネットワーク回線費が約5割を占めております。

ネットワーク回線費は、主に通信キャリアに対する接続料であり、売上計画に基づく予測の積み上げで算出しております。調達単価の低下の影響で、2025年3月期のネットワーク回線費は1,724百万円（前期比8.2%減）を見込んでおります。

業務委託料は、売上に連動して発生するSIMカードの配送料や業務支援等の費用となり、売上計画に基づく予測の積み上げで算出しております。SIMカード納品数増加の影響で、2025年3月期の業務委託料は424百万円（前期比41.1%増）を見込んでおります。

その他の費用については、売上計画及び過去の実績を基に個別の発生が見込まれる費用を積み上げで算出しております。

以上の結果、2025年3月期の売上原価は3,502百万円（前期比4.9%減）を見込んでおり、売上総利益は2,043百万円（前期比20.6%増）を見込んでおります。

（販売費及び一般管理費、営業利益）

当社の販売費及び一般管理費は、主に人件費、減価償却費、業務委託費により構成されており、特に人件費が5割以上を占めております。

人件費は、既存の従業員数及び将来の採用計画を考慮した人員計画に基づき算出しております。2025年3月期末の人員数の増加は前期末比で2割強となり、2025年3月期の人件費は604百万円（前期比45.3%増）を見込んでおります。

減価償却費は、前期の実績数値及び2025年3月期の投資計画に基づき算出しております。2025年3月期の減価償却費は154百万円（前期比62.2%増）を見込んでおります。

業務委託費は、前期の実績数値及び2025年3月期に発生が見込まれる監査法人等の外部専門家や業務委託先に対する報酬の支出を考慮して算出しております。2025年3月期の業務委託費は86百万円（前期比28.8%増）を見込んでおります。

その他の費用については、過去の実績を基に個別の発生が見込まれる費用を積み上げで算出しております。

以上の結果、2025年3月期の販売費及び一般管理費は1,225百万円（前期比34.8%増）、営業利益は817百万円（前期比4.1%増）を見込んでおります。

(経常利益)

営業外損益の予想値については、業績予想時点で個別に見積りが可能なものを見込んでおり、営業外費用について上場関連費用等の発生により 18 百万円の計上を見込んでおります。

以上の結果、2025 年 3 月期の経常利益は 799 百万円（前期比 1.9%増）を見込んでおります。

(特別損益、当期純利益)

特別損益の予想値については、業績予想作成時点で個別に見込んでいるものはございません。

以上の結果、2025 年 3 月期の当期純利益は 545 百万円（前期比 0.4%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年3月21日

上場会社名 ミーク株式会社 上場取引所 東
コード番号 332A URL <https://www.meeq.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 峯村 竜太
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員兼経営管理室長 (氏名) 安井 允彦 TEL 03 (4226) 3119
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,202	-	697	-	696	-	456	-
2024年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	47.00	-
2024年3月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、2024年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年3月期第3四半期の数値及び2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2024年12月4日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,141	3,608	69.4
2024年3月期	4,275	3,119	72.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,567百万円 2024年3月期 3,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,545	3.2	817	4.1	799	1.9	545	0.4	55.81

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
2. 当社は、2024年12月4日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

3. 2025年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(1,668,000株)を含めた期中平均発行済(予定)株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	9,720,000株	2024年3月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	—株	2024年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	9,720,000株	2024年3月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、2024年3月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年3月期第3四半期の期中平均株式数については記載していません。
2. 当社は、2024年12月4日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(会計上の見積りの変更に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

当社は、前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間の我が国経済におきましては、景気の緩やかな回復傾向が見られた一方で、不安定な国際情勢等による資源価格の高騰、物価上昇、円安の継続等、先行きが不透明な状況が依然として続きました。

このような状況の下、IoT/DXプラットフォームサービスについては、コロナ禍が収束したことによる家庭用Wi-Fiルータの需要が平常時に戻った影響が徐々に限定的になりながらも続いた一方で、IoT市場の拡大が続く中で、引き続きプラットフォームを用いたプル型営業やアライアンスを通じ、効率的に契約回線の獲得を進めました。MVNEサービスについては、特定顧客のキャリア化に伴う特定顧客の契約回線数減少の影響が徐々に限定的になりながらも続いた一方で、引き続き顧客基盤を持ち自社事業とモバイルサービスの連携を望む非通信事業者の取込みに注力し、当第3四半期累計期間においては新規大型顧客を獲得いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,202,946千円、営業利益697,805千円、経常利益696,450千円、四半期純利益456,811千円となりました。

なお、当社はモバイルIoTサービス支援事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載は行っていません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4,311,640千円となり、前事業年度末に比べ、755,246千円増加いたしました。これは主に新規大型顧客の獲得に伴い売掛金が278,183千円、SIMの調達による前払費用が298,087千円増加したことによるものであります。固定資産は、829,786千円となり、前事業年度末に比べ、110,390千円増加いたしました。これは主にソフトウェア開発に伴い無形固定資産が132,724千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は5,141,427千円となり、前事業年度末に比べ、865,636千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,459,283千円となり、前事業年度末に比べ、404,463千円増加いたしました。これは主にモバイル通信の仕入により買掛金が108,307千円、主に新規大型顧客からの初期費用受領に伴い契約負債が136,689千円増加したことによるものであります。固定負債は73,703千円となり、前事業年度末に比べ、27,444千円減少いたしました。これは主に返済によりリース債務が27,487千円減少したことによるものであります。

この結果、負債は1,532,987千円となり、前事業年度に比べ、377,019千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は3,608,440千円となり、前事業年度末に比べ、488,616千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が456,811千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本日開示いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想は、当社が本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,260,226	2,502,371
売掛金	905,754	1,183,937
貯蔵品	13	13
前払費用	335,170	633,257
その他	55,232	3,677
貸倒引当金	—	△11,616
流動資産合計	3,556,394	4,311,640
固定資産		
有形固定資産	383,322	361,290
無形固定資産	255,101	387,825
投資その他の資産	80,974	80,670
固定資産合計	719,397	829,786
資産合計	4,275,791	5,141,427
負債の部		
流動負債		
買掛金	380,304	488,611
リース債務	32,773	32,131
未払費用	226,197	259,695
未払法人税等	38,430	142,139
未払消費税	5,536	33,257
契約負債	332,859	469,548
預り金	6,752	23,443
賞与引当金	31,887	—
その他	83	10,455
流動負債合計	1,054,820	1,459,283
固定負債		
リース債務	89,396	61,908
資産除去債務	11,751	11,794
固定負債合計	101,148	73,703
負債合計	1,155,968	1,532,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	980,057	980,057
利益剰余金	2,120,272	2,577,083
株主資本合計	3,110,329	3,567,141
新株予約権	9,494	41,298
純資産合計	3,119,823	3,608,440
負債純資産合計	4,275,791	5,141,427

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,202,946
売上原価	2,728,381
売上総利益	1,474,564
販売費及び一般管理費	776,759
営業利益	697,805
営業外収益	
為替差益	16
営業外収益合計	16
営業外費用	
支払利息	157
雑損失	1,213
営業外費用合計	1,371
経常利益	696,450
税引前四半期純利益	696,450
法人税、住民税及び事業税	241,001
法人税等調整額	△1,363
法人税等合計	239,638
四半期純利益	456,811

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、モバイルIoTサービス支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却費は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間
	（自 2024年4月1日
	至 2024年12月31日）
減価償却費	131,938 千円